



「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」 コープは被災者に寄り添った 支援を続けています



豪雨や地震など、2018年も大きな災害が発生しました。また東日本大震災の被災地では、いまだ不自由な生活を余儀なくされている方がいます。コープデリグループでは、募金や職員ボランティアの派遣など、被災者に寄り添った支援を続けています。

西日本大雨災害

2018年6月28日から7月

8日にかけて、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨が続き、河川の氾濫や浸水、土砂崩れなどの甚大な被害をもたらしました。

コープデリグループでは緊急支援募金に取り組み、2億円を超える募金を皆さまよりお寄せいただきました。

西日本大雨災害 緊急支援募金

受付期間 7月10日～8月19日

総額 **2億4,169万7,059円**

募金の送り先

被災者への義援金などとして **約2億3,700万円**

産直産地への支援金として **400万円**

**募金は
被災者・産直産地への
支援に役立てられます**

お預かりした募金は、被災者への義援金・産直産地への支援金として役立てられています。

義援金は、被害の大きかった10府県の各自治体を通じて、被災者にそれぞれ分配されています。また、コープデリグループの産直産地のうち、被害の大きかった愛媛県・広島県・和歌山県の8つの産直産地へ、支援金として50万円ずつ計400万円をお送りしました。

被災した産直産地では、みかんなどかんきつ類の園地が崩落したほか、栽培施設の損壊、道路の寸断など甚大な被害があります。コープデリグループは10月に愛媛県内の4つの産直産地を訪問し、募金の目録とともに組

合員から寄せられた応援メッセージをお渡ししました。支援金は被災施設の修理や園地などの整備に活用されます。

※1 岐阜県・京都府・兵庫県・島根県・岡山県・広島県・山口県・愛媛県・高知県・福岡県

※2 JA全農えひめ・JAにしようわ・JAえひめ南・JAえひめ中央・瀬戸田出荷組合・出来商店・JA広島ゆたか・しもつコープファーム



松山市内では、いよかんの園地が崩落するなどの被害がありました(写真:JAえひめ中央より提供)



全国農業協同組合連合会愛媛県本部(JA全農えひめ)小越県本部長(左)にコープデリ連合会 小林副理事長より目録とメッセージをお渡ししました

産直産地からの お礼のメッセージ

7月の集中豪雨では、愛媛県の年間降水量の約3分の1にあたる500ミリ近くが降りました。特に、八幡浜市保内町の被害が甚大で、30カ所以上の園地崩落があり、家屋も流されました。

ただ、暗い話だけではなく明るいニュースもあります。被害が少なかった地域では今期のみかんの出来は上々で、味はもちろんのこと、糖度が高く酸度が低いみかんができました! 組合員さんにはぜひ変わらぬご利用を願いたいと思います。

これからも被災地への 支援を続けます

募金の取り組み以外にも、コープデリグループでは被災地に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。

被災者の願いやニーズはそれぞれ異なり、刻々と変化していきます。コープデリグループは、今後も被災者や被災産地に寄り添った支援を続けます。



西宇和農業協同組合
(JAにしようわ)
濱田常務理事



職員(左端)が広島県の災害ボランティアセンターで運営支援を行いました

北海道胆振東部地震

2018年9月6日未明、北海道で発生した最大震度7の地震により、土砂崩れや北海道全域で停電が発生しました。

コープデリグループが取り組んだ緊急支援募金では、1億5千万円を超える募金をお寄せいただきました。



「よつ葉北海道十勝プレーンヨーグルト」などを生産している、よつ葉乳業株式会社 川瀬常務取締役(中央)、新田酪農部長(左)に、家近宅配営業企画部長より募金の目録とメッセージをお渡ししました。

北海道胆振東部地震 緊急支援募金

受付期間 9月8日～10月20日

総額 **1億5,259万1,730円**

募金の送り先

北海道生活協同組合連合会 約1億5千万円
(被災者への義援金・被災産地への支援金)

産直産地への支援金として 30万円

東日本大震災

震災から8年、未曾有の被害を受けた被災地では以前の生活を取り戻しているところもあります。しかし、ふるさとを離れ、不自由な生活を送る方も少なくありません。

コープデリグループでは、「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を合言葉に、2018年度も「東日本大震災復興支援募金」に取り組みました。皆さまからお預かりした募金は岩手・宮城・福島の生協にお送りし、それぞれが取り組む復興支援活動に役立てられています。

東日本大震災 復興支援募金

2018年度12月現在

1,471万3,181円

※東日本大震災復興支援募金の累計は4億7,609万円(2011年～2018年12月まで)、この他に2011年度は義援募金として5億6,672万円をお寄せいただきました

募金は「ふれあいサロン」 など被災者への支援に 役立てられています

復興支援活動の一つ「ふれあいサロン」は、仮設住宅や復興公営住宅で住民同士お茶やおしゃべりでほっとできる時間を過ごし、交流を促す取り組みです。

福島県大玉村営横堀平団地では、富岡町などから避難してきた約60世帯の方々が暮らしている、大玉村社会福祉協議会が月2回ふれあいサロンを開催しています。コープふくしまでは、お寄せいただいた募金から食材を提供。みそ汁を作ったり、お茶やお菓子をいただきながら交流して、大切なコミュニケーションの場となっています。

「コヨット」にも募金が活用されています

募金は「福島の子ども保養プロジェクト(コヨット)」としても活用されています。コヨットは、福島の子どもたちに安心して屋外でのびのび遊べる機会を提供する取り組みです(写真はいばらきコープでの受け入れの様子)。



参加者の声

同じ富岡町出身と言っても、それぞれ違う地区だから知らない人ばかり。サロンのおかげで仲良くなれました。震災から8年、不自由さはあるものの、頑張っていきたいです。

2019年度も「東日本大震災復興支援募金」に取り組みます。ご協力をお願いいたします。

宅配

OCR注文書やeフレンズで、右記の申込番号と口数をご記入ください。

286443 1口
100円

287024 1口
10ポイント

286605 1口
1,000円

287032 1口
100ポイント

287041 全ポイント



※1ポイント=1円。この募金は税務上「寄付金控除」の対象になりません



コープは、事業と活動を通して「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に貢献します。今回の取り組みは、「目標11：住み続けられるまちづくりを」につながります。